

〒562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪大学 外国語学部 中国語学研究室内

中国語教育学会

HP <http://www.jacle.org/>

Email ch_teaching@yahoo.co.jp

郵便振替口座 00110-1-191152

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第 27 号(通巻 52 号)2009 年 10 月 10 日発行

=====

目次

- (1) 次期役員選挙について
- (2) 学会誌『中国語教育』第 8 号の原稿募集について
- (3) アジア・オセアニア地区(日本、韓国、シンガポール、ベトナム、オーストラリア)の中国語教育に関する国際シンポジウム開催のお知らせ
- (4) 事務局からのお願い

=====

(1) 次期役員選挙について

去る 10 月 1 日、全会員宛てに次期役員選挙の被選挙人名簿、投票用紙、返信用封筒を発送しました。投票用紙は **11 月 6 日(金)事務局必着**で返送してください。

その後の日程は、11 月中旬に開票、12 月 6 日開催予定の理事会での承認を経て、2009 年 2 月頃に開票結果及び新規役員名簿を全会員宛に送付いたします。

よろしくご協力くださいますよう、お願いいたします。

(2) 学会誌第 8 号の原稿募集について

学会誌『中国語教育 第 8 号』は来春 2010 年 3 月末に刊行予定です。現在、研究論文の投稿を募集しています。**応募資格は投稿時点における本会会員**に限ります。

「投稿規定」及び「執筆要領」は、本学会ホームページ「投稿規程」に最新版を掲載していますので、必ずこの規定に従った原稿を提出してください。

研究論文は日本語、英語、中国語によるものとし、分量は 2 万字以内、内容は中国語教育に関係するオリジナルな研究論文、中国語教育現場での実践報告、調査報告や書評などとなります。投稿原稿はそれぞれ理事複数名の査読によって採否を決定します。

投稿受付の締め切りは **2009 年 12 月 4 日(金)事務局必着(郵送、宅配便)**です。今号は、例年よりも締め切りの日程が繰り上がっていますので、ご注意ください。

(3) アジア・オセアニア地区(日本、韓国、シンガポール、ベトナム、オーストラリア)の中国語教育に関する国際シンポジウム開催のお知らせ

会報第26号において既報の通り、11月29日(日)に大阪大学中之島センターを会場として、本学会の関西地区研究会を兼ねて、下記のような国際シンポジウムを開催します。

今回、世界で初めての試みとして、韓国、シンガポール、ベトナム、オーストラリアから、各国それぞれ6~10名の中国語教師と研究者が一堂に集います。ぜひ日本における中国語教育の現場からも多くの研究発表と参加をお願いします。

日本、韓国、シンガポール、ベトナムは、いわゆる「漢字文化圏」という歴史的・地理的文脈の中で、そして、オーストラリアは多言語・多文化地域として、それぞれ中国語を母語としない環境下での中国語教育を行ってきました。その意味で、これらの国々は欧米地域を対象とする中国語教育には無い特性を共有していますが、残念ながらこれまで相互の交流と理解は十分とは言えませんでした。

このような問題意識のもと、このたび韓国中国語教育学会、シンガポールの南洋理工大学国立教育学院、ベトナムハノイ外国語大学中国語文化系、オーストラリアのモナッシュ大学中国言語文学系、日本関西地区中国漢語教師交流協会の協力と共催を得て、アジアとオーストラリアの各地域における中国語教育に関する情報交換を目的とした国際シンポジウムを開催します。

広く会員の皆様の研究発表と参加交流を募集しますので、下記のシンポジウム専用メールアドレスまでご連絡ください。研究発表(中国語)は、日本における中国語教育に関する分析と提言を含むものを歓迎いたします。

中国語教育学会事務局内「日本中国語教育学会 '09 国際研究会」係
シンポジウム連絡専用の Email: hanyujiaoxue091129@gmail.com

(4) 事務局からのお願い

・年会費の納入について

この会報に振込用紙が同封されている場合には、振込用紙に注記された年会費未納額を一括納入してください。請求金額が合計¥15,000以上で、11月末日までにお支払いがない場合は会則に従い除籍となります。事務処理の都合上、必ず2009年11月末日までにご入金ください。

なお、本状と行き違いに納入いただいた場合には、失礼お許しください。

会員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

・住所、勤務先などの変更届けについて

住所や勤務先などの変更が生じた場合には、学会事務局まで電子メールにてご連絡ください。なお、事務処理上の遺漏と煩雑さを避けるため、振込用紙への記入や郵便、ファクスなどでのご連絡はご遠慮ください。

亚太地区国际汉语教学学会 第一届研讨会（大阪）通知（第二号）

一、会议宗旨：

研讨亚太地区各国汉语教学的专业化发展方向；增进区域内的学术文化交流与合作。

二、会议主题：非汉语环境下的汉语教学

三、征文范围：

1. 亚太地区各国的汉语教材及汉语水平测试；
2. 亚太地区各国的师资培训及教学法；
3. 亚太地区各国汉语学习者的第一语言对汉语教学的影响与作用。

四、会议时间、地点：

时间：2009年11月29日（周日）

地点：大阪大学中之岛中心（Osaka University Nakanoshima Center；大阪）

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

五、会议组织：

主办单位：日本中国语教育学会

日本关西地区中国汉语教师交流协会

韩国中国语教育学会

新加坡南洋理工大学国立教育学院亚洲语言文化学部

越南河内外国语大学中国语言文化系

澳大利亚蒙纳士大学中文系

协办单位：外语教学与研究出版社（中国北京）

承办单位：日本中国语教育学会

日本关西地区中国汉语教师交流协会

联络地址：日本 562-8558 大阪大学 语言文化研究科 中国语学

古川裕 furukawa@lang.osaka-u.ac.jp

六、会议形式

1. 主题演讲：介绍并交流日、韩、新、越、澳五地汉语教学的现状与问题

古川裕、胡士云 [日本], 孟柱亿 [韩国], 吴英成 [新加坡],

阮黄英 [越南], 洪历建 [澳大利亚]

2. 专题讨论：

A. 日、韩、新、越、澳五地的汉语教材与水平测试；

B. 日、韩、新、越、澳五地的汉语师资培训；

C. 日、韩、新、越、澳五地的汉语教学法；

D. 日、韩、新、越、澳五地的汉语学习者的第一语言对汉语教学的影响与作用。

七、会议规模：国外学者 40 人左右，日本学者 20 人左右。

八、会议工作语言：汉语

九、与会方法：拟与会者请于 10 月 30 日前将邮件发给下面电子地址：

电子邮件：hanyujiaoxue091129@gmail.com

十、论文：

· 论文摘要（限 A4 纸一页；摘要上请写明作者姓名、所属单位、Email 地址等信息），

请于 10 月 30 日之前将摘要的 Word 版和 PDF 版发到：hanyujiaoxue091129@gmail.com

· 论文全文，请各自准备 60 份在会场分发。口头报告，可以用 PPT。

· 本次研讨会的论文集，会后将由外语教学与研究出版社（北京）编辑出版。

十一、日程：11 月 29 日（周日）开会

上午 10:00-12:00：主题发言

中午 12:00-13:30：休息

下午 13:30-17:00：专题讨论

18:00 交流晚宴：River-Side Terrace

http://www.rihga.co.jp/river_side/

No. _____

**亚太地区国际汉语教学学会
第一届研讨会（大阪）回执**

（务请于 2009 年 10 月 30 日之前，通过电子邮件寄给 hanyujiaoxue091129@gmail.com）

姓 名	中文：	性 别	
	英文：	国 籍	
电 话	公：	传 真	公：
	宅：		宅：
电子邮件			
通讯地址			
现职（任职单位及职称）			
专题讨论的题目：			